

## 令和3年度の調査結果のまとめ

令和3年度に実施したペーパーレス会議システムの試行運用に係る調査及びICTセキュリティ研修の振り返りアンケート結果について、主な内容をICT利活用推進・実施計画における検討事項に沿って以下のとおり整理した。

- 議 ・ ・ 議員アンケート結果（セキュリティ研修の振り返りを含む）
- 執 ・ ・ 執行部調査結果
- 事 ・ ・ 事務局調査結果

### 1 ペーパーレス会議システムの本格運用のあり方

#### (1) 常任委員会における運用方法について

##### ① 会議の運営方法について

議・執・事 端末操作、委員会運営については問題なしが大勢であった。

議・執・事 議員の質問における通知機能の使用などのあり方について、整理が必要との意見があった。

##### ② 会議室の設備・環境について

議・執 情報端末の充電を不安視する意見があった。

執 情報端末の通信環境に不安視する意見があった。

執 資料閲覧用大型モニター等の設置を希望する意見があった。

##### ③ 紙資料の取扱いについて

議 議員の紙資料の取扱いについては「データの会議資料を基本とするが、議員がデータを印刷して持ち込むのは認めてよい」が最も多かった。

執 紙納品については廃止・削減の希望が多かった。

(※ 試行では記者用、傍聴者用等は紙納品となっている。)

#### (2) ペーパーレス会議を試行する会議の拡大について

議 予算・決算特別委員会に導入するという意見とその他の特別委員会に導入するという意見が過半数だった。

執 長時間の会議や急きょ開催の会議について不安視する意見があった。

### (3) 議員サポート・セキュリティについて

**議** 今後 I C Tセキュリティ研修の頻度、方式については意見が分かれており、eラーニング、動画配信等の提案もあった。

**議** 操作に慣れない議員へのフォローを求める意見があった。

## 2 情報端末機器の整備のあり方

**議** 試行において、議員保有端末であることによって特に不都合は生じなかった。

**議** 公費調達ではなく、議員保有端末を使用するのでよいとする意見が過半数であった。

## 3 調査情報の充実

**議** 約7割の議員が令和3年度の試行のとおり、審議の充実に資する資料の格納を希望している。

## 4 その他 I C Tツールの導入

**議** 事務局からの連絡・調整に係るツールの検討を希望する意見が多かった。

**執** 常任委員会のオンライン開催について検討の提案があった。